



熊野古道伊勢路 女鬼峠(多気町)

発行/三重県議会 編集/三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 TEL 059 (224) 2877

FAX 059 (229) 1931 MAIL gikaik@pref.mie.lg.jp

URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

URL https://www.gijiroku.jp/mie/ (スマホ版)

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook)

議会
ホームページ



スマホ版
議会だより



議会
Facebook



~令和6年度当初予算などについて議論~ 令和6年三重県議会定例会 2月定例会議、3月会議

「子ども・子育て支援」、「人口減少対策」、「産業振興」、「観光振興」、「いのちを守り、暮らしを支える」の5点を重視した、令和6年度当初予算を審議・可決しました。

本号の主な内容

- 1面 審議結果、代表質問
- 2面~3面 一般質問、用語解説、五十鈴中学校による議場演奏会、「議長定例会記者会見」で議会の情報を発信しています、新役員へのインタビューをテレビ放送します
- 4面 1年間の会議の結果を知事へ提言しました、議員が中学生・高校生に授業をしました、主な開催実績

審議結果

2月定例会議(2月19日~3月22日)

可決した議案

予算

- 令和5年度三重県一般会計補正予算(第8号)
- 令和6年度三重県一般会計予算

条例

- 三重県公立学校情報機器整備基金条例案

その他議案

- 包括外部監査契約について

人事案件(同意)

- 副知事の選任につき同意を得るについて

不採択とした請願

- 上げ馬神事における動物虐待の根絶を求めることについて

可決した意見書案

- 漁業及び養殖業の危機的状況を打開するための対策を講じることを求める意見書案
- 政治資金問題の徹底説明及び実効性ある再発防止策を求める意見書案
- 防災・減災、国土強靱化対策の拡充を求める意見書案
- 食料の安定供給及び食料自給力向上の対応強化を求める意見書案

否決した意見書案

- 地方公共団体に対する包括的な指示権を明記する地方自治法改正案の規定の撤回を求める意見書案
- 令和6年能登半島地震からの復旧及び復興を最優先に取り組むことを求める意見書案

3月会議(3月29日)

可決した議案

- 三重県県税条例の一部を改正する条例案

議員別の賛否等の状況(PDFファイル) 2月分



議員別の賛否等の状況(PDFファイル) 3月分



代表質問

「はちがけ社会」における労働力不足について

三谷 哲央 議員

新政みえ
桑名市・桑名郡選出

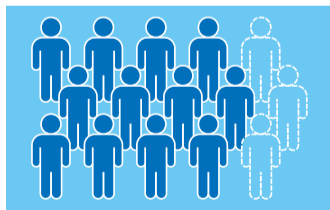


問

民間の調査において、2040年には三重県全体で21万人分の労働力が不足するとの結果がでていようように、今後、人口減少に加えて高齢化率も跳ね上がることで生産年齢人口が減少し、人材不足が顕在化する可能性があります。高齢化の進行は、医療・介護サービスの需要拡大、高齢者の健康や福祉を支えるための施策やインフラの拡充が必要となります。避けて通ることのできない「はちがけ社会」における労働力不足に対して、知事の考えをお聞かせください。

答

生産年齢人口が現在の8割を切ると想定される2040年には、おいても県の活力を維持するためには、人口減少対策とあわせて人材確保対策をしっかりと行う必要があります。人口減少対策を適切に実施するとともに、人材確保対策では、女性や高齢者が働きやすい環境整備や、新しい技術を導入することによる生産性の向上など、三重県全体、多くの業種で人材が確保できるように社会の状況変化を見ながら適切な対応を進めます。



三重県ひきこもり地域支援センターの民間委託について

津田 健児 議員

自由民主党
四日市市選出



問

三重県ひきこもり地域支援センターの相談件数は伸びておらず、民間委託している他県の相談件数との差は歴然としています。ひきこもり支援に関わる人には、それなりの思い入れが必要です。助けたくても助けられなかった経験、県や市に相談しても助けてもらえなかった経験がある人ほど、困っている人を放っておけないのだと思います。そういった差が数字に表れているのではないのでしょうか。同センターの民間委託について県の考えをお聞かせください。

答

三重県ひきこもり地域支援センターでは専門職を年々増員し、相談日数や時間を拡充するなど、相談体制の強化を図ってきました。しかし、市町等でも相談対応していることを考慮しても、相談件数は増加傾向ながら不十分だと認識しています。同センターは、ひきこもり当事者やその家族にとつて、より相談しやすい窓口となることが求められているため、他県の運営状況も参考にしながら、民間委託も含めてより良い運営方法を検討していきます。



その他の質問事項

- 令和6年度当初予算(案)について
- 「災害対策」について

代表質問
三谷哲央議員



その他の質問事項

- キャリアコンサルタントを活用した就学率向上について
- 母語教育の研究について

代表質問
津田健児議員



一般質問

高度救命救急センター設置に向けた取り組み状況について

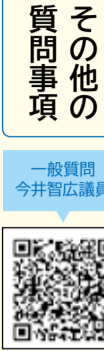


今井智広 議員
公明党
津市選出

三重県には、高度救命救急センターに指定された医療機関がまだありません。同センターの指定については、国から県に権限が移譲されているため、今後、県がどのように取り組んでいくかが重要になります。第7次三重県医療計画の中間見直しでも盛り込まれた同センターの設置について、スケジュールを含めて県の考えをお聞かせください。

答 これまでの検討の結果、三重大学医学部附属病院を、令和6年4月1日付で高度救命救急センターとして指定することになりました。同センターの運営は、病院全体の連携体制が必要であることから、指定後も重篤患者の受入実績など取り組み状況の定期的な報告を求めて、より一層の機能充実に向けた支援などを進めます。

その他の質問事項
高等教育機関への地域枠の設置について
災害から県民のいのちを守るために



三重大学医学部附属病院

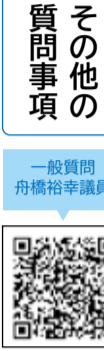
三重県伝統工芸士認定制度の創設



舟橋裕幸 議員
新政みえ
津市選出

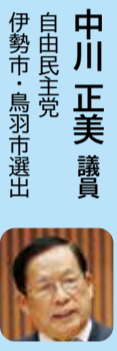
国は、伝統的工芸品を製造する人材を伝統工芸士として認定する制度を設けていますが、三重県には同様の制度はありません。伝統工芸品の製造従事者の社会的評価を高め、後継者の育成や次世代への継承に寄与し、工芸産業の振興を図るために、県が指定する伝統工芸品についても同様の制度を導入するべきではないでしょうか。県の考えをお願いします。

答 県伝統工芸品指定事業者や市町を対象としたアンケートにおいて、伝統工芸士制度に対する意見を伺ったところ、技術の維持向上や社会的評価につながるといった制度に期待する声がありました。製造従事者の意欲向上や伝統工芸品全体の魅力発信、産業振興につながることを考えられるため、今後、制度の導入について検討を進めます。



その他の質問事項
再生可能エネルギーの利用促進について
二級河川志登茂川の河川改修について

農林水産物を活用した三重の魅力発信について



中川正美 議員
自由民主党
伊勢市・鳥羽市選出

地域の魅力を分かちやすく伝える「食」を彩る農林水産物は、世界に誇れる三重県の資源として特に重要です。熊野古道の世界遺産登録20周年や大阪・関西万博の開催を魅力発信のチャンスと捉えて、大都市圏でのこれまで以上の効果的なプロモーションが必要だと思えます。県産農林水産物を活用した三重の魅力発信の取り組みをどのように進めていくか、お聞かせします。

答 県では、大都市圏のホテルやレストラン等で県産食材を使った料理の提供や、観光情報の発信を行う「三重県フェア」を開催してきました。令和6年度は、これまでの取り組みに加え、航空会社や老舗料亭の料理長など影響力の強い人材と連携したプロモーションを進め、県全体の認知度向上や誘客につなげます。



ホテルでのフェアの様子



その他の質問事項
建設業の2024年問題について
循環経済（サーキュラーエコノミー）に関する県の取り組みについて

孤立地域での救助・救援活動について



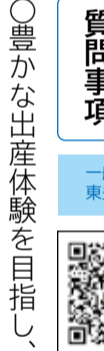
東豊 議員
東豊
東紀州選出

熊野半島地震では道路だけでなく港湾も被災し、車両や船舶による人命救助や救援活動などに支障をきたしました。熊野灘沿岸部には熊野半島と類似した地形があり、孤立地域の発生が懸念されますので、いざというときに円滑にヘリコプターを運用できる体制整備と、その運用の実効性を高める取り組みについてお聞かせください。

答 県では、警察や海上保安庁などとヘリコプターによる救助訓練を行うなど、連携の強化に取り組んでいます。また、市町が新たに離着陸場を指定する際に、必要に応じて現地調査も実施しています。今後もこうした取り組みを継続し、ヘリコプターによる救助活動を円滑に実施できるよう体制の強化に努めます。



防災ヘリコプターでの搬送の様子(熊野半島地震)



その他の質問事項
豊かな出産体験を目指し、助産所機能(病院内助産を含む)の充実について
熊野古道伊勢路をはじめとした南部地域の観光振興について

三重県のホームページの活用について



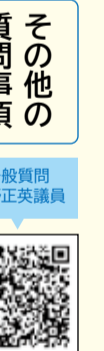
芳野正英 議員
新政みえ
四日市市選出

行政のホームページには、広報機能や情報提供機能に加えて、情報のアーカイブ機能が求められます。県のホームページには膨大な情報が掲載されていますが、最新情報かどうかの区別がつけづらいものもあり、見にくいものになっていきます。ホームページの改善について、県の考えをお聞かせください。

答 県民の皆さんが、最新の情報から過去の情報まで、必要な情報を、必要とする時に、容易に入手できるようにホームページの整備を進めています。今後は、不要な情報の削除やリンク切れの修正に取り組むとともに、システムを改修してページの情報がいつでも閲覧されたかが分かるよう改善を図るなど、常に利用者の視点に立ったホームページの充実に努めます。



三重県ホームページ



その他の質問事項
流域下水道の整備について
水道の広域化について

ワンヘルスの推進について



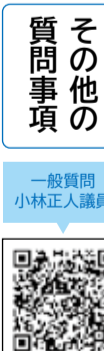
小林正人 議員
自由民主党
鈴鹿市選出

動物由来の人獣共通感染症の流行は社会生活に大きな影響を与えますが、国の所管は縦割りで、関係法令や研究機関がないものもあります。今後も動物由来の感染症により甚大な被害が予想される中、人の健康、動物の健康、環境保全の各専門家が協力して課題解決を図る「ワンヘルス」の実践が必要不可欠だと思います。県の認識と取り組みの現状をお聞かせください。

答 県は、医療機関等獣共通感染症に対する対応訓練や、動物を扱う事業者への講習会などを通して、基本的な人獣共通感染症対策を実施しています。国際的に広まりつつあるワンヘルスの概念を踏まえ、今後も、関係部局と連携して、感染症に関する知識の普及啓発や関係者との情報共有に取り組めます。



ワンヘルス



その他の質問事項
避難者への支援体制について
児童相談所一時保護所の運用について

海水温上昇への水産業適応対策と支援



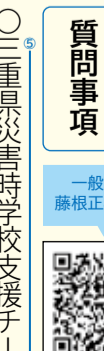
藤根正典 議員
新政みえ
東紀州選出

黒潮大蛇行による英虞湾・熊野灘の海水温の上昇により、アコヤガイやカキのへい死、のりの生産量減少、魚病被害の増加など、三重県の水産業は大きな影響を受けています。黒潮の流れを人の手で変えることはできませんので、水産物の安定供給のためには、水産養殖業において適応策を進めていく必要があるのではないのでしょうか。県の取り組みをお聞かせください。

答 県の水産研究所が中心となり、養殖管理の参考となる漁場環境の情報提供や、養殖種類ごとの課題に応じた対策を進めています。令和6年度は、魚類養殖における海水温での病気のリスクを低減するため、新たに、深い水深での生産試験を開始するなど、高水温化に適応した養殖業の実現に向けた取り組みを進めます。



マハタ養殖の様子



その他の質問事項
三重県災害時学校支援チームについて
緊急輸送道路等県管理道路の災害時に対応する改修整備について

戦後80年を迎えるに 当たっての知事の思い

石垣 智矢 議員
自由民主党
いなべ市・員弁郡選出



問 第二次世界大戦の傷跡は今もなお人々の心に深く残っています。二度と悲惨な戦争を繰り返さないために、戦争の教訓を風化させることなく、平和の尊さ、大切さを次世代に語り継ぐことが、今を生きる私たちの最大の使命だと思います。令和7年に戦後80年を迎えるにあたり、知事の思いをお聞かせください。

答 平和は何よりも重要であり、政治の覚悟と先の大戦の記録を語り継いでいくことが大切です。戦後80年の事業では、先人が積み上げてきた歴史をしっかりと学び、戦争の悲惨さを次世代に伝えていきたいと考えています。



その他の質問事項

一般質問 石垣智矢議員



○沖縄「三重の塔」の環境整備について
○ネットトラブルから子どもたちを守るために ほか

中小企業・小規模企業への支援について

世古明 議員
新政みえ
伊勢市・鳥羽市選出



問 中小企業・小規模企業は、エネルギー価格や原材料費、労務費の上昇分を取引価格に転嫁できず、収益が圧迫されています。地域経済の活性化のためには、適切に価格転嫁できる機運を醸成することも、企業収益の拡大を支援し、賃上げに繋げることが必要だと考えます。適切な価格転嫁を進めるための県の取り組みをお聞かせください。

答 県は、「取引適正化」を開発して「コーディネーター」等による伴走支援を行うとともに、望ましい取引慣行の遵守等を宣言する「パートナーシップ構築宣言」の宣言企業拡大に向けた取り組みを進めています。今後も、適切な価格転嫁を実現できるような、経済団体や労働団体、国の機関等と一層連携し、一体となって取り組みます。



その他の質問事項

一般質問 世古明議員



○太平洋岸自転車道の振興について
○平和啓発の取り組みについて ほか

飼い主のいない猫の対策について

田中 祐治 議員
自由民主党
松阪市選出



問 県は、飼い主のいない猫を対象にTNR活動に取り組んでおり、ボランティアは、その対象外である飼い主の飼育能力がなくなった飼育猫についても、費用を負担して捕獲、運搬、不妊・去勢手術を行っています。殺処分される猫を減らすためには、県とボランティアが連携して取り組むことが効果的だと考えますが、今後の県の方向性をお聞かせください。

答 ボランティア団体は、猫の地域での動物愛護管理の推進に主体的に関わっていただいています。継続的にTNR活動を推進するには、県や市町のみでの取り組みでは限界があるため、引き続き、地域やボランティア団体と連携して、人と動物が安全で快適に共生できる社会の実現を目指します。



手術後に耳先をカットした猫

その他の質問事項

一般質問 田中祐治議員



○土砂災害警戒区域について
○内水面漁業の現状と課題について ほか

介護人材の確保について

稲垣 昭義 議員
新政みえ
四日市市選出



問 昨年12月、インドネシア共和国の厚生省の方々を県を訪れ、日本の看護師や介護福祉士の国家資格を取るためのプロジェクトの連携などの協力依頼が行われました。このような行政とで、インドネシアの優秀な人材が県に集まり、介護施設の人材確保につながるのではないのでしょうか。知事の考えをお聞かせください。

答 県が実施したアンケート調査によると、外国人介護人材を導入している介護施設は全体の25%ほどであり、今後、その割合は増加が見込まれます。介護業界からは、外国人介護人材の呼び込みを求める声を聞いていますので、インドネシア政府との覚書締結を検討するなど、介護人材の確保に向けて積極的に取り組みます。



その他の質問事項

一般質問 稲垣昭義議員



○脱炭素に取り組む中小企業への支援について
○SNSの積極的な活用について ほか

用語解説

① はちがけ社会

高齢化の進行で働き手の中心である現役世代が今の8割になり、今までの当たり前が通用しなくなる2040年の社会を表現した造語。

② 高度救命救急センター

広範囲熱傷、指肢切断、急性中毒など、特殊疾病患者に対する救命医療を行うために必要となる相当高度な診療機能と24時間対応可能な診療体制をもつ医療機関のことです。県の医療計画に基づいて知事が指定します。

③ ワンヘルス

「人の健康、動物の健康、環境の健全性は一つ」と捉え、これらを一体的に守ろうという考え方のこと。

④ 人獣共通感染症

動物からヒトへ、ヒトから動物へ伝播可能な感染症のこと。

⑤ 三重県災害時 学校支援チーム

県内外の大規模災害の際に、学校の早期復旧を支援するために設置されたチームのこと。災害

⑥ TNR活動

飼い主のいないノラ猫に不妊・去勢手術を行うことでさまざまなトラブルの軽減を図り、一代限りの命を見守る活動のこと。不妊・去勢手術を施した猫は、目印として耳先を小さくカットします。

五十鈴中学校による議場演奏会



開催日時 令和6年3月29日(金)
内容 伊勢市立五十鈴中学校合唱部による合唱
県民にわかりやすく、県民が参加しやすく、県民に関心をもってもらえる開かれた議会への取り組みとして、今回で2回目となる議場での演奏会を開催しました。当日は、中学生19名による合唱3曲が披露されました。

新役員へのインタビューを テレビ放送します

放送日時
令和6年6月1日(土)
午後6時30分から午後7時まで

正副議長をはじめとする新役員の紹介や、インタビューなどをまとめたテレビ広報番組「三重県議会ハイライト～新役員決まる～」を三重テレビで放送します。ぜひご覧ください。
テレビ放送後は、県議会ホームページ「ビデオライブラリー」で動画をご覧ください。

ビデオライブラリー



「議長定例記者会見」で 議会の情報を 発信しています

月に一度、議長の定例記者会見を実施し、報道各社を前に、議会のさまざまな取り組みを発信しています。

その模様はインターネットで生中継するとともに、録画映像と会見録として県議会ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

実施日時は、県議会ホームページ「月別の日程」でご確認ください。

議長定例記者会見(録画・会見録)



月別の日程





1年間の会議の結果を知事へ提言しました

食料自給総合対策調査特別委員会



本委員会では、令和5年5月の設置以降「食料の安定供給と食料自給力の向上」・「地産地消の取組」・「地場産品の充実」・『食』に関する教育の推進・「農林水産業の後継者・担い手の確保」の5つを重点調査項目に位置づけ、執行部からの聴き取り調査、参考人招致、県内外調査、委員間討議といった方法により、調査を重ねてきました。

このたび、こうした調査や討議を基に、本特別委員会としての意見をまとめ、知事に提言を行いました。また、国に対しても、食料の安定供給及び食料自給力向上の対応強化を求める意見書をとりまとめ、本会議で可決後、すみやかに関係省庁に提出するとともに、意見書の主旨を所管する農林水産省には、議長とともに正副委員長で訪問し、要望活動を行いました。

- 提言の主な内容**
- 食料の安定供給と食料自給力の向上
 - 地産地消の取組・地場産品の充実・食育の推進
 - 農林水産業の後継者・担い手の確保

子どもに関する政策討論会議



令和5年6月に、子どもに寄り添った政策立案および政策提言をするため、子どもに関する政策討論会議を設置し、三重県子ども条例の改正に向けた検討のほか、新型コロナウイルス感染症による子どもへの影響や子どもの貧困への対応を中心に、執行部や有識者からの聴き取り調査、県内調査、委員間討議などを行ってきました。

このたび、これらの調査や討議を基に、三重県議会として、子どもに関する喫緊の政策課題について、知事に提言を行いました。

- 提言の主な内容**
- 三重県子ども条例の改正
 - 体験活動の機会の確保
 - 子どもの居場所づくりへの支援
 - 不登校状態にある子どもへの支援
 - 子どもが安全・安心に情報社会を生きるための環境の整備
 - 子どもの学習支援 など

再生可能エネルギーに関する検討会



本県議会では、令和5年6月に、再生可能エネルギーの導入に関して、調査や検討を行うことを目的に、「再生可能エネルギーに関する検討会」を設置して検討を重ねました。本検討会において行った執行部聴き取り、有識者意見聴取および県外調査を踏まえ、本県における再生可能エネルギーの現状と課題を整理した上での、地域との共生が図られた再生可能エネルギーの導入に関し、知事に提言を行いました。

- 提言の主な内容**
- 【地域との共生】法定外税による適地誘導等、エネルギーの地産地消の推進
 - 【太陽光発電】条例による設置規制区域の導入及び適正な維持管理の義務化、太陽光発電に対する環境影響評価の対象拡大等
 - 【風力発電】漁業者等の先行利用者との協調、地域住民等の理解、海洋環境への配慮、県内企業への参画支援、本県沖合でのポテンシャルについての調査及び検討

議員が中学生・高校生に授業をしました

学校法人暁学園 暁中学校



3月12日 暁中学校での講座の様子

生徒からの質問

- 今進行中の議案はどのようなものがありますか？
- 女性議員や若い議員の割合はどのくらいですか？ など

県立聾学校(高等部)



3月13日 聾学校での講座の様子

生徒からの質問

- どのような思いがあって議員になったのですか？
- 話し合いをしているときに注意していることは何ですか？ など

県議会を身近に感じてもらうことを目的に、議員が学校に出向いて授業を行う「みえ県議会出前講座」を実施しています。3月に実施した、学校法人暁学園暁中学校と県立聾学校(高等部)での様子をお伝えします。

広聴広報会議の委員が2名で学校を訪問し、県議会の仕組みや議員の仕事などを動画やスライド資料を使用しながら授業をしたあと、皆さんからのたくさんの質問に答えました。

随時募集

出前講座は、学校からの申し込みを受けて実施しています。実施を希望する場合は、県議会ホームページに掲載している申込書を、実施希望日の1か月前までに事務局へ送付してください。主権者教育の一環としても活用してください。(実施日は、原則本会議や委員会等の開催日以外で調整します)



開催日	開催内容
18日 1月	本会議(開会) 開会 ほか 食料自給総合対策調査特別委員会 提言書案および意見書案について ほか
9日 2月	食料自給総合対策調査特別委員会 参考人からの意見聴取について ほか 本会議 議案60件上程 本会議 議案に関する質疑(1人)、議案1件可決 予算決算常任委員会3分科会 議案の審査 予算決算常任委員会
20日	本会議 議案に関する質疑(1人)、議案1件可決 予算決算常任委員会3分科会 議案の審査 予算決算常任委員会
19日	本会議 議案60件上程 本会議
9日	食料自給総合対策調査特別委員会 参考人からの意見聴取について ほか 本会議 議案60件上程 本会議 議案に関する質疑(1人)、議案1件可決 予算決算常任委員会3分科会 議案の審査 予算決算常任委員会
27日	代表質問(2人)、議案に関する質疑(6人) 本会議 議案の審査、所管事項の調査 本会議 一般質問(5人)、議案2件可決 予算決算常任委員会
29日	本会議 議案の審査、所管事項の調査 本会議 一般質問(4人) 本会議 議案26件上程 本会議 一般質問(3人) 予算決算常任委員会
7日	予算決算常任委員会 食料自給総合対策調査特別委員会 参考人からの意見聴取について ほか
8日、11日、12日、13日	各常任委員会・分科会 議案の審査、所管事項の調査 ほか 食料自給総合対策調査特別委員会 提言書案(最終案)について、意見書案(最終案)について ほか 予算決算常任委員会 議案の審査 本会議
15日	議案の審査、所管事項の調査 ほか 食料自給総合対策調査特別委員会 提言書案(最終案)について、意見書案(最終案)について ほか 予算決算常任委員会 議案の審査 本会議
18日	本会議 議案の審査 本会議 議案83件可決、請願1件不採択、意見書案6件上程・4件可決・2件否決、人事同意議案2件上程・同意 本会議 議案1件上程・可決、特別委員会の廃止 予算決算常任委員会総務地域連携交通分科会 議案の審査 予算決算常任委員会
22日	本会議 議案の審査 本会議 議案83件可決、請願1件不採択、意見書案6件上程・4件可決・2件否決、人事同意議案2件上程・同意 本会議 議案1件上程・可決、特別委員会の廃止 予算決算常任委員会総務地域連携交通分科会 議案の審査 予算決算常任委員会
29日	本会議 議案の審査 本会議 議案1件上程・可決、特別委員会の廃止 予算決算常任委員会総務地域連携交通分科会 議案の審査 予算決算常任委員会

※この他にも、さまざまな会議を開催しました。

主な開催実績